

当院の連携医療機関である先生をご紹介します。

◆医療法人同仁会おおぞら病院◆

院長 山下治彦先生、副院長 吉田直彦先生、副院長 上甲隆敏先生

所在地：松山市六軒家町4番20号 Tel：089-989-6620

開院：平成27年2月

診療科：内科（糖尿病、内視鏡、呼吸器、神経、肝臓）、リハビリテーション科、整形外科、乳腺外科

休診日：土曜日午後、日曜日・祝日

病床数：回復期病棟60床、一般病棟40床、地域包括ケア病床8床

| 診察時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|---|---|---|---|---|--------------------|
| 9:00 ~ 13:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9:00 ~ 12:00 |
| 14:00 ~ 18:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |



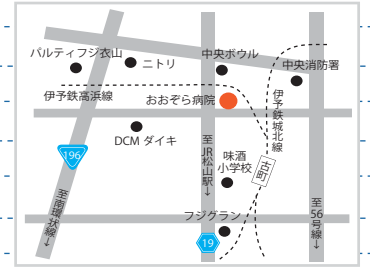
当院は昭和45年に吉田病院として三番町で開院しました。建物の老朽化に伴い、昨年2月におおぞら病院と名称変更し、現在地に新築移転いたしました。特徴としてリハビリテーション・糖尿病・内視鏡・乳腺・健診の5つのセンターを設置し、地域の皆様に信頼される病院を目指しています。特に回復期リハビリ



病棟では、脳卒中や骨折の患者さんの回復・自宅復帰をお手伝いしています。入院中に病室に籠ってしまっは、思うように回復できません。患者さんが

病室より談話室に、室内より屋外に自主的に出たくなるような開放的で活気のある病院づくりを目指しています。

松山市民病院には、患者さんをよく紹介させていただきますが、いつも迅速に対応していただき感謝しています。最近、地域連携型医療の必要性が注目されています。それぞれの病院の強みを生かして、地域で連携しながら患者さんにとってベストな医療が受けられるよう心掛けていきたいと思ます。今後ともよろしく願いいたします。



はな・一期一会 Vol.30



水仙 (Narcissus)
松山市内

水仙は多数の垂種類が見られ、一般的によく見られるのは上記のような形態です。原産地は地中海沿岸とされます。雪の中でも咲くことから「雪中花」とも称される花です。正岡子規の句碑を守るように寒風の中で凛と咲いていた、「風にたつライオン」ならぬ、「風に立つ水仙」を見つけました。蕾と3方向に向いた満開の花を一枚の写真に同時に収めることができ、大変に幸せな気分になったものです。花言葉は、自己愛、うぬぼれ、エゴイズムとあります。

(写真・文／大肚祐治)

お知らせ

INFORMATION

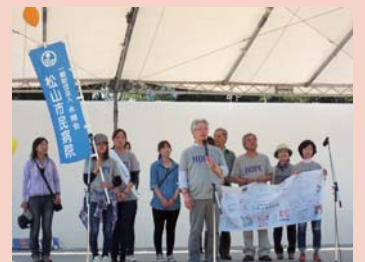
N棟、S棟を結ぶ渡り廊下が増えました

昨年11月末にN棟1階、2階の改修工事が終了し、各1カ所だったN棟とS棟の渡り廊下が院内の東側にも完成しました。外来機能が集まる1階、2階はこれまで診療科によっては移動距離が長く、患者さんにご不便をおかけしておりましたが、動線がスムーズになりました。



リレー・フォー・ライフジャパン2015えひめ

平成27年10月7日(土)、8日(日)に松山市堀之内の城山公園で開催され、当院は一昨年に引き続き2回目の参加となりました。今回のテーマは「標(しるべ) ～つなごうこの24時間を 次の24時間へ～」で、リレーの原点を見直し、暗闇に行く患者さんやご家族の標の1つになれるようにとの願いが込められています。多くの職員が参加し、タスキをつなぎながら夜通し歩き、無事24時間のリレーを終了しました。



当院は敷地内禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願いします。

編集後記

申年には赤い下着を身につけると縁起が良いとされています。猿のように仲間を大切にしながら元気よく過ごしたいものです。2016年もよろしく願います。(広報委員会)